

2021年3月26日

一般社団法人 こども宅食応援団

4/13（火）全国こども宅食サミット開催のご案内

全国初のこども宅食実施団体実態調査のレポートを発表します

「こども宅食」は、経済的に困窮している子育て家庭に対して、食品を届けることで「つながり」を築き、生活課題や支援ニーズの実状を把握して適切な支援を届けることで、状況の悪化や重篤化を未然に防ぐ取組です。

一般社団法人 こども宅食応援団は、この「こども宅食」を全国に広げるため、2018年に設立いたしました。現在、こども宅食の実施団体は19都府県33団体へと広がりを見せています。

このたび、4月13日（火）に、全国のこども宅食実施団体や自治体が集まり、コロナ禍の今、これから必要とされる見守り支援について話し合う「全国こども宅食サミット」を開催する運びとなりました。

サミットでは、全国初の調査となる、こども宅食を実施する団体60団体の支援の状況や課題などを明らかにする実態調査アンケートの結果の発表や、国会議員・厚生労働省虐待対応推進室課長による、「アウトリーチ事業の全国普及の現状と課題」に関するディスカッションも行います。

日本全国でこの見守り支援を広げていくため、メディアの皆様にも関心をお寄せいただきたく、取材受付をいたします。多くの方にご参加いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

イベント概要

第2回全国こども宅食サミット「全国の事例から学ぶ、今必要とされる"見守り"とはなにか」

日時： 2021年4月13日（火） 14:00～18:00

開催方法： Youtubeによるオンライン配信（13:50より入室開始）

登壇者： 一般社団法人こども宅食応援団代表理事 駒崎弘樹

厚労省 虐待対応推進室課長

国会議員数名（登壇者交渉中）

長崎県長崎市 つなぐBANK 山本倫子

宮崎県三股町 みまたん宅食どうぞ便 松崎 亮

東京都江戸川区 おうち食堂 岡田妙子、江戸川区助成成長支援係

他

取材申込み：<https://hiomare-takushoku.jp/cover>



本リリースに関するお問い合わせ

一般社団法人こども宅食応援団 事務局（認定NPO法人フローレンス内 担当：新海・岩尾）

TEL：03-4346-9752（平日 9:00～18:00）/E-mail：info@hiomare-takushoku.jp

※配信会場ではサミット終了後（18:00～）、代表駒崎並びに参加議員の撮影・囲み取材をお受けします。

ご来場をご希望の方は詳細を取材申し込みフォームよりお知らせ下さい。

※配信のご視聴のみの場合も取材申し込みフォームよりお申し込みをお願いいたします。ご登録いただいたメールアドレスに配信URLをお送りします。

配信会場： 東京都千代田区神田神保町1-14-1 KDX神保町ビル3F
(認定NPO法人フローレンスオフィス内)
※受付開始13:45～

◆◆◆「こども宅食」について◆◆◆

「こども宅食」とは、2017年に文京区でスタートし、経済的に困窮する子育て世帯に、企業・フードバンク等から提供を受けた食品等の宅配を行う事業です。

定期的な配送を行うことでご家庭と継続的なつながりを保ち、困りごとがあった際には必要に応じて行政などの支援につなげる役割も持つ「見守り支援」です。

窓口で相談が来るのを待つのではなく、食品を持ってご家庭に伺っていく「アウトリーチ」型の事業のため、相談への心理的・物理的ハードルを下げることで、困っている声を上げづらいご家庭にアプローチのできる手法です。

資金調達では、ふるさと納税制度を活用し、返礼品を用意せず、集まったご支援の全てを事業推進に活用しています。

【一般社団法人 こども宅食応援団】

「こども宅食」は2017年に東京都文京区ではじまった、生活の厳しい子育て家庭に定期的に食品を届ける取り組みです。食品のお届けをきっかけにつながりをつくり、見守りながら、食品以外の様々な支援につないでいきます。こども宅食応援団は、この「こども宅食」という仕組みを、文京区から日本中に広げていくため、こども宅食事業に取り組む自治体やNPO等に対して活動資金やノウハウの提供、事業推進のための伴走的な支援を実施します。また、こども宅食事業や事業を通じて解決しようとしている社会課題の認知度拡大のための広報活動を実施します。

<https://hiromare-takushoku.jp/>

※「こども宅食」は登録商標です。

本リリースに関するお問い合わせ

一般社団法人こども宅食応援団 事務局（認定NPO法人フローレンス内 担当：新海・岩尾）

TEL：03-4346-9752（平日 9:00～18:00）／E-mail：info@hiromare-takushoku.jp

「第2回こども宅食サミット」セッション詳細

【1】	基調講演 「誰一人取り残さない」こども宅食が挑む、親子を救うアウトリーチとは	
	登壇者	認定NPO法人フローレンス・一般社団法人こども宅食応援団 代表理事 駒崎弘樹
	内容	開会挨拶、こども宅食のこれまでの流れとこれからの展望についてお話しします。
【2】	数字でみる「こども宅食」の成果 ～全国実態調査から見てきた価値と課題～	
	登壇者	一般社団法人こども宅食応援団（事務局：今井峻介・ほか）
	内容	こども宅食の実施団体と、こども宅食の利用者に向けて実施した、初の全国的なアンケート調査の結果の一部を紹介します。（こども宅食事業の実態の実態や課題など）
【3】	全国先進事例に学ぶ、食支援×アウトリーチの最前線～児童虐待予防の官民連携事業の実務上ポイントと今後の課題～	
	登壇者	モデル事業の実施団体 長崎県長崎市 つなぐBANK 山本倫子 宮崎県三股町 みまたん宅食どうぞ便 松崎 亮 東京都江戸川区 おうち食堂 岡田妙子、江戸川区助成成長支援係 ファシリテーター：こども宅食応援団事務局 本間奏
	内容	こども宅食のモデル事業の実施団体による登壇。『「支援へのつなぎ」の壁』『「関係性構築」の壁』『「支援」の壁』の3つの壁について、Howや成果の事例をお伝えします。
【4】	政策提言ディスカッション「アウトリーチ事業の全国普及の現状と課題」（仮）	
	登壇者	国会議員2～3人（未定） 厚労省 虐待対応推進室課長 ファシリテーター：駒崎弘樹
	内容	官民連携の見守り事業の全国普及を進める上での課題や国の政策について議論します。

※第2回全国こども宅食サミットは4月13日・14日の2日間に渡って開催いたしますが、取材をご案内するのは13日のみとなります。14日は実施団体によるワークショップを行います。

本リリースに関するお問い合わせ

一般社団法人こども宅食応援団 事務局（認定NPO法人フローレンス内 担当：新海・岩尾）

TEL：03-4346-9752（平日 9:00～18:00）/E-mail：info@hiromare-takushoku.jp